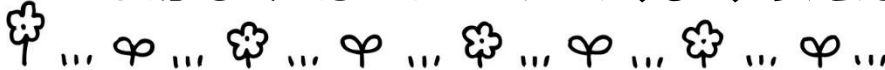


令和4年9月27日 鈴鹿市立稲生幼稚園



No.4

あかるく たのしい いのうようちえん



こんにちは、稲生幼稚園です。7月21日（木）から8月31日（水）までの長い夏休みを終えて、9月1日（木）に園児23名全員がそろって始業式を行い2学期が始まりました。

各クラスでは、夏休み中に経験したことをお友達の前で伝える時間を持つことで、4歳児は自分の話を聞いてもらえる喜びや友達の話聞いて自分も同じような経験をしたと共感する姿が、5歳児は「それでどうしたの？」と疑問に感じたことを質問して、より深く友達のことを理解しようとする姿が見られました。



2日（金）には、大地震の後に幼稚園から火災が発生したという想定で避難訓練を行いました。地震から身を守るダンゴムシのポーズで揺れが収まるまで待ち、園庭に避難しました。その後、幼稚園から火災が発生して小学校の運動場まで逃げる訓練も行いました。どの子ども落ち着いて行動することができていて、1回目より2回目、3回目と避難訓練の経験を重ねることごとに、いざというときの行動が身についていると感じました。



また、この夏は雨が多く暑かったせいか、園舎西側のトトロの森（と幼稚園では呼んでいます）の木にスズメバチが巣を作っていることが分かり、駆除するまで立ち入り禁

止の措置を取りました。子どもたちには、スズメバチには絶対に近づかないことや、飛んで来たら静かに離れることなどを指導して、危険な生物から命を守る行動を教えました。

スズメバチの巣を駆除するため、今後同じように巣を作らせないために、病気で腐っていた木や巣のあった木などを連休中に伐採し、ようやくトトロの森で遊べるように





なり、ドングリ拾いなどを楽しみました。今回のことで、自然物は恵みをもたらすとともに危険も併せ持っているということを改めて感じることができました。幸い、誰も被害にあうことがなかったので、子どもたちには、自然の中にある危険から身を守ることを学ぶ機会になりました。今後も、園児が安心して生活できる環境整備に努めていきますので、気が付いたことがあれば幼稚園までお知らせください。

夏野菜が終わり、今度は冬野菜の種を蒔きました。5歳児は、みんなで何を育てたいかをクラスで話し合い、リンゴ、ブドウ、ミカン、モモなどの意見も出たようですが、家で調べた子がいて「木になるものは育つのに時間がかかるから、地面にできるものにした方がいいんじゃない？」と提案して、「それじゃ、イチゴならいいかも」とプランターでイチゴを育て、畑でダイコン、ニンジン、ホウレンソウ、ブロッコリーを育てることになりました。4歳児は、プランターにラディッシュとニンジンの種を蒔きました。毎日水やりをして成長を楽しみにしている子どもたちです。



9月27日(火)は、2年生のおもちゃランドに招待していただき、遊びに行ってきました。6月のいきものランドでは、小動物の様子を見たり説明を聞いたりすることを楽しんでいましたが、今回は、お気に入りのおもちゃで何度も遊ぶ子や次々と色々なおもちゃに挑戦する子など様々な姿が見られました。中には、「どうやってするか分からん」と2年生の説明を聞いただけでは遊び方が理解できない子もいて、2年生の子が「どうやって言ったら分かるんやろ？」と苦労しているコーナーもありました。4歳児には、見てすぐに遊び方が分かる魚釣りなどが人気で、5歳児は、少し複雑でも何度も挑戦してコツをつかむとできるような遊びを好んでいました。幼稚園に帰るまでに子どもたちは何度も「楽しかった！」と言っていました。おもちゃの扱い方をその都度優しく教えてくれた2年生の皆さん、本当にありがとうございました。

